

2024年6月24日

“トレーからトレーへ” 店頭回収を通じた資源循環の取り組みを推進

～横浜市内のセブン-イレブン 2 店舗、イトーヨーカドーららぽーと横浜店で実施～

株式会社セブン&アイ・ホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：井阪隆一 以下当社）傘下の株式会社セブン-イレブン・ジャパンと株式会社イトーヨーカ堂は、使用済みプラスチック製透明トレーの資源循環の取り組みを実施いたします。

当社はプラスチック削減に向けて、セブン&アイグループの環境宣言『GREEN CHALLENGE 2050』において、オリジナル商品の容器・包装を 2030 年までに 50%、2050 年に 100%を環境配慮型素材に置き換えることを目標として掲げています。循環経済社会の実現に向けた取り組みの 1 つとして、2012 年からペットボトルの資源循環に取り組んでおり、2023 年度はセブン&アイグループとして合計 4,187 台のペットボトル回収機を設置し、約 5 億本のペットボトルを回収・リサイクルいたしました^{※1}。回収したペットボトルの一部は再びペットボトルとしてリサイクルする「ボトル to ボトル」に繋がっています。

現在実施している「ボトル to ボトル」に加え、使用済みプラスチック製透明トレーを回収し、再びプラスチックトレーへとリサイクルする「トレー to トレー^{※2}」の取り組みを開始します。トレーの回収ボックスは『地域活性化包括連携協定^{※3}』を締結する横浜市内のセブン-イレブン 2 店に設置（実証実験）し、イトーヨーカドー 1 店に設置いたします。今後は結果を検証しながら、回収ボックス設置店舗の拡大を検討いたします。

セブン&アイグループは、お客様やお取引先様をはじめ全てのステークホルダーの皆様と一緒に、身近でわかりやすいリサイクルの仕組みの構築を目指すとともに、循環経済社会の実現に向け取り組んでまいります。

※1 2024年2月末時点

※2 「トレー to トレー」は株式会社エフピコの登録商標です

※3 『地域活性化包括連携協定』（平成24年6月締結）横浜市とセブン&アイグループ3社による、「地域環境・地球環境の保全に関すること」などの分野で地域活性化に向けて連携するための協定

<概要>

実施店舗：セブン-イレブン横浜田奈駅東店、セブン-イレブン横浜京急生麦駅前店
イトーヨーカドー ららぽーと横浜店

実施期間：2024年6月24日（月）から2024年12月31日（火）

※回収ボックスは2024年12月15日（日）までの設置となります。

回収対象：プラスチック製透明トレー容器

回収できる透明容器：洗って乾燥させ、汚れのないもの。テープやラップを外したもの

回収できない透明容器：食品容器外のもの、プリン、ゼリー等の硬質透明容器、印刷されている容器
全面にシールが貼ってある容器、たまごパックすべて（色付き含む）、色付き容器



【横浜市】
広報活動や分別回収に関わる周知

<回収ボックスと店頭設置イメージ>



▲セブン-イレブン店頭での回収イメージ

<掲示するポスター>



▲セブン-イレブン横浜田奈駅東店、セブン-イレブン横浜京急生麦駅前店、イトーヨーカドーららぽーと横浜店の店頭に掲示するポスター



▲セブン-イレブン横浜田奈駅東店、セブン-イレブン横浜京急生麦駅前店の回収ボックスに掲示するポスター